

連携だより

おおもり日赤



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

春号（第 23 号）

平成 21 年 4 月発行

日本赤十字社 東京都支部

大森赤十字病院

〒143-8527

東京都大田区中央 4 丁目 30 番 11 号

TEL03-3775-3111(代)

FAX03-3776-0004(代)

大森赤十字病院基本理念

信頼され心あたたまる病院

基本方針

- ・安全で質の高い・患者さまの立場にたった丁寧な医療を提供します。
- ・救急医療の充実と発展に努めます。
- ・地域医療連携を推し進めます。
- ・災害救護に積極的に取り組みます。
- ・経営の健全化を図りその成果を医療活動に還元します。
- ・医療従事者の教育と研修を推進します。

★★★副院長就任挨拶 ★★★



大森赤十字病院 副院長 中瀬 浩史



4月1日付で前任の内山伸治先生の後を受けて副院長を拝命いたしました。内山前副院長は臨床から病院管理まで多岐にわたる分野で活躍されていました。副院長業務を引き継ぐにあたり、私に科せられた責任の大きさに身の引き締まる思いがしております。

私はこの16年あまり虎の門病院という都心の病院に勤務し、神経内科部長を務めておりました。技術的には相当の水準にあるとしても患者さん一人一人の生活とは離れた場所での診療に明け暮れておりました。私はこの病院に職を得て、地域医療という医療の基本に立ち戻る機会を得たことを喜びとし誇りに感じております。

いま大森赤十字病院は病院全面改築という大きな節目を迎えようとしております。着任いたしますと、山之内院長をはじめ病院の多くのスタッフから新しい病院の構想を語っていただきました。現在の病院に接して新病院の建設も進み、ハードの整備は目で見えるようになってまいりました。ソフト面はどうでしょうか。診療体制についても新体制について構想が進んでおります。先生方には逐次ご紹介していきたいと思っております。

医療の経営環境が悪化する中で、しばしば引用されている定理があります。医療の質、医療のコスト、医療へのアクセス、この三者を同時に求めることはできないというものです。画期的な技術革新でもなければこの定理を受け入れて優先順位をつけなければなりません。

私の考える第一優先は医療の質です。これなくしては先生方そして一人一人の患者さんの信頼に応えることはできません。その上でコストとアクセスのバランスをとっていくしかありません。医療連携の推進によってこの両者のバランスをうまく均衡させ、そのうえで医療の心も連携させていきたいと思っております。当院の基本理念にある「信頼され心あたたまる病院」の実現を目指していきたいと思っております。

先生方の変わりないご支援をお願い申し上げます。



★★★連携室長就任挨拶 ★★★

連携室が再スタートします

大森赤十字病院 循環器科部長 持田泰行



私が当院の心臓カテーテル室のスタートとともに当院に赴任してはや5年が過ぎました。地域の先生方には当初から大変温かく迎えていただき、患者さんを介して皆様とお付き合いさせていただくことの責任の重さ、やりがい、そして楽しさを教わりました。またガイドラインセミナー開催も3年目に入り、多くの先生方と机を並べて勉強することの楽しさも味わうことができました。

これまでは連携室の副室長として実務を行ってまいりましたが、このたび連携室長として皆様との医療連携全体の責任を持つ立場となりました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

お困りの患者さんがいたら、まず、どうぞお気軽に連携室へ電話でご相談ください。「なんとなく元気がない」だけでも結構です。専門科の指定に迷う時でも、「専門の先生にちょっと聞きたい」も大歓迎です。まず連携室でお受けして対応致します。

医療崩壊が着々と進行しつつある現在、限りある人的、経済的資源を有効に利用しながら、この地域で皆様とともにベストの医療を実現するためには、より良い病診連携を構築することが必要不可欠と考えています。

皆様にこの大森赤十字病院をもっと使っていただくために、どんなサービスがあったら良いと思いますか？アイデアをお寄せください。ちょっとしたことでも結構です。お待ちしております。



略歴

昭和38年 東京都千代田区神田和泉町生まれ
昭和63年 横浜市立大学医学部卒業
平成2年 済生会横浜市南部病院循環器科
平成5年 横浜市大浦舟病院救命救急センターCCU
平成10年 横浜南共済病院第二内科医長
平成13年 横浜市大第二内科助手
平成16年4月～ 大森赤十字病院循環器科副部長
平成19年10月～ 同部長

日本内科学会認定内科医
日本循環器学会認定循環器専門医
日本心血管インターベンション学会認定医
医学博士
横浜市立大学非常勤講師
日本心臓病学会特別正会員 (FJCC)



★★★第13回ガイドラインセミナー ★★★

‘歯周病の診断と治療の指針 2007’

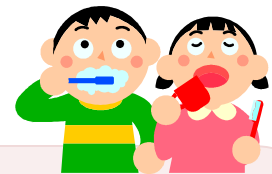
歯科・口腔外科 副部長 橋爪 敦子

2009年1月28日、第13回診療に役立つガイドラインセミナーが開催され、‘歯周病の診断と治療の指針 2007’という演題で発表いたしましたので概要をご報告致します。

歯周病は歯周組織における慢性的な感染症で生活習慣病とされています。
また最近の研究で歯周病は全身疾患と深い関係があることが明らかになってきました。

- ◎歯周病の人はそうでない人に比べ心疾患（狭心症や心筋梗塞）に数倍なりやすいことが統計上明らかになっています。
- ◎糖尿病により細菌に対する抵抗力が低下するため、歯周病を治療することで糖尿病が改善されたという報告もあります。
- ◎重度の歯周病がある場合は歯周病のない人に比べ脳梗塞が発症する危険が高いことが報告されています。
- ◎歯周病にかかっている妊婦さんで切迫流産が6～7倍おこりやすいという報告もあります。
- ◎口腔細菌が誤嚥性肺炎の原因となり、歯周病や口腔ケアをおこない細菌を減少させ肺炎になる可能性を下げることが必要になります。
- ◎その他細菌性心内膜炎をまねいたり、骨粗鬆症、喫煙も歯周病を悪化させるといわれています。

したがって歯周病を治療することは重要なことと考えます。
歯周病の原因は歯周病菌、外傷性咬合、喫煙、ストレス、糖尿病などです。



【歯周治療の概要】

1. 審査、診断と治療計画の立案
歯周ポケット測定、歯の動揺度、エックス線写真などにより審査します。
2. 歯周基本治療
プラークコントロール（ブラッシング）、歯石除去、ルートプレーニング（歯肉縁下の清掃）、不良補綴物の治療
3. 1,2を再評価します。
良好な結果が得られない場合、次にすすみます。
4. 歯周外科手術
歯の固定、歯肉切除術、歯肉剥離搔爬術、再生療法
5. 再評価
6. 治療
7. メンテナンス



歯周病は、治癒したからといって終わりではありません。毎日のブラッシングと規則正しい生活、ケアが大切です。お口の健康をいつまでも保ち、美味しいものが咬めるよう治療は大切です。

★★★新任医師紹介★★★

★ 副院長（神経内科） なかせ ひろふみ 中瀬 浩史

出身大学 東京大学
専門分野 神経内科
学会認定医等 日本神経学会認定医、医学博士、日本頭痛学会専門医、日本神経学会評議員、日本内科学会指導医、日本神経感染症学会評議員、社会保障審議会統計分科会委員等
自己 PR 神経内科全般の臨床を続けてまいりました。脳血管障害から筋疾患まで、オールラウンドに診療しています。
高齢者の認知症、パーキンソン病などは日常的に診療しています。
機能的疾患とくに不随意運動のボトックス療法や頭痛についても専門的に臨床経験を積んできました。
地域医療に何らかの貢献ができれば幸いです。



★ 外科部長 ささき しん 佐々木 慎

出身大学 東京大学
専門分野 一般外科、消化器外科
学会認定医等 日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本大腸肛門病学会指導医、日本消化器病学会専門医、日本消化管学会胃腸科認定医
自己 PR 平成元年に東京大学を卒業後、大学での研修を経て、平成2年より3年間、本院で外科医としての基礎を学びました。東京大学腫瘍外科(旧第1外科)に入局し、大学では大腸肛門病の専門的修練を積みました。この度、16年振りに本院にお世話になることになりました。これまで身につけた消化器・一般外科学を礎に、up to date な知識も吸収しつつ、患者さんにとりベストな医療を実践できるように努力していきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



★ 腎臓内科医師 かきもと 垣本 みどり

出身大学 横浜市立大学
専門分野 腎臓病学、高血圧、血液浄化法
自己 PR 腎臓病・高血圧・血液浄化法といった専門分野だけでなく、総合内科医として幅広い視野をもつ医師になれる様がんばります。
どうぞ宜しくお願いします。

★ 循環器科医師 ふくおか まさひろ 福岡 雅浩

出身大学 横浜市立大学
専門分野 循環器科一般
自己 PR これまで主に循環器一般の診療と基礎研究に携わって参りました。
患者様をご紹介いただけた際には先生方のニーズにお応えできるよう、病院のリソースを充分活用する



★ 消化器科医師 ^{にしごおり} 西郡 ^{しゅうへい} 修平

出身大学 浜松医科大学

専門分野 消化器一般

自己 PR まだまだ至らない所もあり、ご迷惑をおかけしますが宜しくお願い致します。

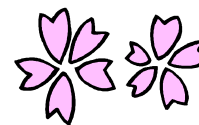
★ 外科医師 ^{よねやま} 米山 さとみ

出身大学 秋田大学

専門分野 消化器

学会認定医等 日本外科学会認定医、専門医

自己 PR 1月より外科に勤務しております。地域に密着した医療現場で医師としての能力を深めていきたいと思っています。
今後ともよろしくお願ひします。



★ 産婦人科医師 ^{きたむら} 北村 ^{まもる} 衛

出身大学 東邦大学

専門分野 産婦人科

学会認定医等 産婦人科専門医

自己 PR 2009年1月に常勤として赴任しました。よろしくお願い致します。

★ 放射線科医師 ^{まつひさ} 松久 ^{あきゆき} 顕之

出身大学 信州大学

専門分野 画像診断

自己 PR 物理・化学での知識を画像診断にも生かせたらと思っています。
どうぞよろしくお願ひ致します。



～よろしくお願ひ致します～

★★★退職医師紹介★★★

神経内科 (副院長)	内山 伸治
腎臓内科	前田 晃延
循環器科	邑山 美奈子
消化器科	守屋 聡
耳鼻咽喉科	櫻井 裕
産婦人科	関根 貴子
放射線科	片山 貴
麻酔科	林 雅子



～お世話になりました～

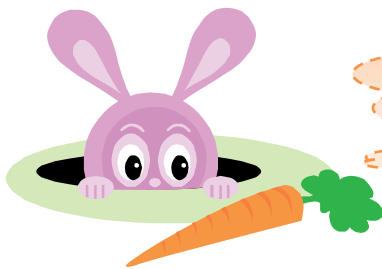
連携室よりお知らせ

H21.6.1より、消化器科外来予約に連携室専用の予約枠ができます！

火曜日：太原 洋医師	}	9：30～10：00	各2名
水曜日：諸橋 大樹医師			
木曜日：井田 智則医師			



※なお、後藤医師の診療日は随時予約可能です。



お待たせすることなくご診察できますので、
どうぞご利用ください。

精神神経科の受診は**完全予約制**とさせていただいております。予約をいただいていない場合には、当日受診出来ない場合もございますので予めご了承くださいませようお願い申し上げます。
また、受診の申込は、患者情報保護の関係上、電話でのお取扱いのみとさせていただいております。

登録医のご案内

大森赤十字病院における地域連携システムの趣旨に賛同し、登録医に申請して頂ける先生方は是
ご登録下さいますようご案内申し上げます。

詳細につきましては医療連携室までお問い合わせください。

《医療連携室のご案内》

受付時間 月～金 8：30～17：00
担 当 看護係長 友岡道子
事務担当 鈴木文子、水村加織
休 診 日 土曜日、日曜日、祝祭日
年末年始（12/29～1/3）
5月1日（日本赤十字社創立記念日）
T E L 03-3775-3676（直通）
F A X 03-3775-3653
U R L <http://www.omori.jrc.or.jp/>
発 行 人 大森赤十字病院 連携室

